

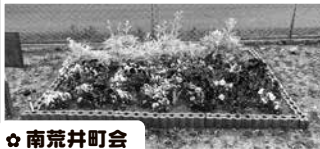
各町会の 花いっぱい運動



☆川東町会



☆寺家町会



☆南荒井町会



☆町神町会



☆下神町会



☆梶海渡町会

6月5日、信州まつもと空港の離着陸回数の変更に伴う事前協議に係る県からの説明会が神林公民館2階大会議室で53人の参加で開かれた。

県から松本空港課長青木英明氏と、同じく課長補佐森谷隆一氏のほか2名、松本市から4名の担当者が出席した。

冒頭に青木課長より「令和4年度の利用者数が25年振りに20万人を超え、5年度は25万9千人と開港後2番目に多い実績でした。このように航空需要が伸びたのも地元のものである。」

理解と協力があるからで、平成元年6月24日付け協定書第3条第1項第2号の規定により、1日の離着陸回数を12回としたものを、今回県として20回にしていたきたたく神林、笹賀、今井、和田の4地区に事前協議を始めてもらっている所で、これに基づいた神林地区の皆さんに説明させていただく機会ができ、ありがた「とあいさつ。この後、森谷課長補佐より以下のとおり説明があった。

定期便の離着陸回数を現行の12回(8月は季節便就航により14回)を20回に変更する

増便するが、空港の運用時間の延長は考えていない。増便に向けて、エプロン(駐機場)・搭乗待機室・駐車場等の拡張、ターミナルビルの改修、格納庫の増設など、施設整備が必要である。

離着陸時の騒音や万一の部品落下への対応など、今後も引き続き必要な対策を講じ、地元地区の不安解消に努める。

ジェット化30年を迎えるところであるが、20便を認めていただき、計画的に路線を誘致していきたいと考える。



令和6年7月1日現在	2,082世帯
総世帯数	4,789人
総人口	2,349人
男	1,144人
女	1,205人



6月8日、爽やかな晴天の中、菅野小学校の運動会が行われた。1年前の5月にコロナが5類感染症になり、マスク着用者は昨年より激減し、コロナ前の運動会の姿に戻りつつある。

児童代表の宣誓は力強く逞しく感じた。紅白に分かれた応援合戦はこれからの競技への意気込みを感じられた。

各学年の短距離走は成長の過程を感じられ、完走最後に応援をしてくれた保護者、先生に向けての「ありがとうございました」の挨拶は日頃言えない感謝の気持ちを感じ取ることができた。

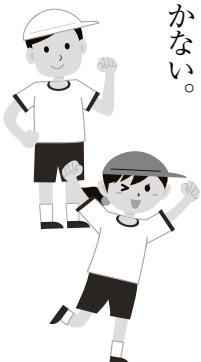
1年生の玉入れ、3年生の

第55回 菅野小学校 運動会



竹引き、5年生の綱引きは僅かの差で勝ち負けが決まったが、お互い爽やかな笑顔が印象的だった。2年生の表現ダンスはかわいく、キレがあった。4年生のソーラン節は大きな動きが菅野小学校独自の踊りで印象的だった。6年生の組み体操はお互いに力を貸し合ったり、体重を利用し合ったりして、1人では行えない効果が十分に発揮できていた。

児童が教室に戻って30分休憩する中、校庭の整備、ライン引きなど休憩なしで動かっていた先生方の姿には感謝しかない。



寺家町会 ポッチャで破顔一笑

6月9日、神林体育館に中川町会長以下57人が集合し、常会交流スポーツ大会を行った。グラウンドゴルフ8組、ポッチャ4組に分かれて、グラウンドゴルフ組は運動広場で行った。

ポッチャ組は初めての人が多く、体育委員からしっかりと説明を受けて、しばらくしたら「こんなに楽しくできるものとは」と皆はまってしまい破顔一笑していた。

グラウンドゴルフは子供も加わり、一振り毎に一喜一憂していた。ホールインワンをした人が5人もいて楽しげだった。



町神町会 ストレッチ講習会

6月23日(日)に町神町会で昨年に引き続き、ウォーキング大会が開催される予定でしたが雨のため中止となり、予定を変更して町神公民館でストレッチの講習会が開催されました。16名が参加し、川東町会の原義美さんに肩こりや腰痛の改善に効果のあるス



トレッチを指導していただきました。

顔いっぱい 笑いのひろば ミニゴルフ

6月30日、子ども会育成会、神林公民館共催による「わくわく子ども広場みんなでニュースポーツ」が行われた。幼児から小学6年生まで約50名が参加した。

ポッチャは年齢、性別、障害のあるなしに関わらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツで、ラリンピックの正式種目になっており、昨年参加した子どもも多かった。

モルックは皆初プレーであったが、役員の分かりやすい説明と都度のアドレసుで楽しくプレーすることが出来た。「モルック」と呼ば

れる木の棒を、「スキットル」と言う複数の木のピンを倒して獲得した点数を競うフィンランド発祥のニュースポーツ。簡単なルールで老若男女楽しめ、木の温もりを感じられる。徐々にコツを掴み、次はこう投げようと考えながらプレーする子どもも多く、歓声と笑顔の多いゲームとなった。短時間でもできるオリジナルなゲームも紹介し、残り時間を有効にプレーできた。



神林公民館 環境整備実施

6月6日(木) 神林公民館関係者、町会長、町会公民館長の参加にて、公民館と運動広場周辺の立木及び植栽の剪定作業を行いました。



鎖川

松本山雅FCを応援して随分と月日が流れた。先制ゴールを決めても、試合終盤で追いつかれて引き分けた試合や、逆転負けの試合もあり、歯痒い思いを選手ばかりでなく、応援している私達も感じている。J3に降格してからは、以前よりも試合中罵声を発し続けている方が増えた気がする。その方達に言わせれば、「お金を払っているんだから、何が悪い?」と言うだろう。気持ちは分からなくもないが、私は松本山雅というクラブを、選手を応援したくてアルウィンに足を運んでいる。気分が悪くなる罵声を聞きに行っているわけではない。サッカーにおいては「12番目の選手」と言われるファン・サポーター。ある選手が言っていた。「苦しい時、ベンチの時こそ、より大きな声で選手を声援後押しをしてほしい」と。

私達の声は確実に選手達に届いている。いろんな考えを持った何千人もの人達が観戦しているが、苦しいシーズンが続いている今こそ、皆が一つになって選手の背中を後押しする声援をしたい。私達の、松本の『誇り』なのだから。

キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で**5名に500円分の図書カード**をプレゼント!締切は**8月28日(水)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】

どうみょうじ

【今回のキーワード】

○○○○○○○○